総合政策部 地域づくり

施策	7102	身近なまで	ちづくりの推進													
	妥当性		<del>33、733元</del> <del>3</del> 当	コスト削減の余	:地 無	受益	者負担	適正								
区分	上位貢献		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	類似事業の有			上の余地	有								
対象	地域会	議委員		•	•	•										
施策が目指す姿	地域の	悪題や意	見を市政に反映	させるために、	定期的に地域会	会議を開催する。										
成果指標	地域会	議出席者	数5年間(平	<sup>7</sup> 成25年度~平成	29年度)で1,8	800人(現状値72	20人)									
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年周	ŧ								
	成果指標1	予定	1,080.00	1,245.00	1,440.00	1,440.00	1,800.	00								
	[人]	実績	802.00	758.00	1,409.00											
目	成果指標 2	予定														
標	[[ ]	実績														
   達	出田七押っ	単位コスト						_								
	成果指標3	実績単位以上														
成	L	実績														
状		実績       単位コスト       予定														
   況		単位コスト														
""																
	トータルコスト	予定	78,184	120,022	149,968											
	(千円)	実績	75,200	113,907	138,108											
     内	貢献度	予定 78,184 120,022 149,968														
部	達成状況	本年度 話しあ	は、新たな地域ったが、出席者	自治制度のスタ 人数の目標値に	ートの年であり 対し未達となっ	り、各地域会議で った。 	で地域の課題	見を熱心	に							
評価	課題		議の役割として 地域の課題もあ	、地域予算提案 る。	制度に取り組 <i>F</i>	んできたが、当記	ぎ提案制度で	で解決し	<u>ੇ</u>							
ТЩ	取組方針	地域課 んでい	題の解決につい く実践的な部分	て再度検討する を支援していく	事に加え、地域。	域住民がまちづく	(りに自主的	りに取り	組							
外部評価	だが、地域では、地域では、地域では、地域では、地での対がでいが、 いいがいがいがいが、 らんしょう いいがん きょう かいがん きょう かいがん きょう かいがん いいがん いいがん いいがん いいがん いいがん いいがん いいがん	域会指議いの地には、	は一般市民の傍 域課題の解決に「 かがなものかと! それぞれの地域○ ことだが、地域○ すべきである。 制度では、地域Ⅰ	数は昨年をよりまで ははほと取る ははは、れるが ははいれるが もの を はけ、れるが もの を がと を もる で いた の 数 り の 数 り が と で い に の 数 り の 数 り の 数 り の 数 り の 数 り の り の り の	〈委員の出席だ 要な会議だと思 皆標を再検討す 協議され、その 効果と洗い出し と解決に取組む	けを捉えている われるが、委員できである。 結果として地域を行い、市民に 制度となってい	と思われ の出席を 予算に反 わかりや ることか									
単	事業コード			名	称		トータルコスト(		達成度							
単位施策達成	673001		和事業費				•	12,137	100							
施   策	704501		会議運営事業費(					8,085	100							
達	704601		会議運営事業費 (	,				8,098	100							
<sup>が</sup> し   の	705302		会議運営事業費(					14,573	100							
のため	705403 705504		会議運営事業費( 会議運営事業費(	,				8,186	100 100							
めの	705504 705605		<ul><li>議選呂事業員(</li><li>議運営事業費(</li></ul>					15,666 8,120	100							
事。	703603		<sup>ェ</sup> 硪埋呂尹未貝( 」クリフステーシ	, ,				1,382	100							
の事務事業	711306		<u>- / / / / / / / / / / / / / / / / / / /</u>					16,797	100							
業	719801		<sup>5</sup> 算提案事業費					4,500	100							

# 単位施策評価表

所属 10200000

総合政策部 地域づくり

施策	7102	身近なまちづくりの推進		
70070	<u> </u>	名称	トータルコスト(千円)	
	704401	地域会議運営事業費(栃木中央)	9,740	93
	706405	西方地域タイムカプセル開封事業費	985	93
	671801	地域まちづくり課一般経常事務費(栃木)	5,423	1
	700101	市歌・市木・市花等制定事業費	18,416	1
	704701	地域づくり応援補助金	6,000	0
	730803	田中正造翁銅像周囲整備事業費(藤岡地域会議)	0,000	0
	731701	栃木中央地域交通事故防止対策事業費		0
	732002	交通事故防止対策事業費(大平地域会議)		0
	732103	観光案内看板整備事業費(藤岡地域会議)		0
<u> </u>	732103	現石山ビューポイント整備事業費(大平地域会議)		0
ŀ	732301	観光用記念撮影パネル設置事業費(中央地域会議)		0
1	732402	大平運動公園ウォーキングコース等整備事業費(大平地域会議)		0
1	732801	大宮運動広場整備事業費(東部地域会議)		0
}	732901	案内看板設置事業費(西部地域会議)		0
}	733001	イベント用テント購入事業費(西部地域会議)		0
}				0
単	734701 735001	世波川沿岸修景事業費(中央地域会議) - 初架スタス末採東業费(初架地域会議)		0
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		都賀子育て支援事業費(都賀地域会議)		
位	735401	重伝建地区休憩施設設置事業費(中央地域会議)		0
施	735506	ふるさと案内板設置事業費(岩舟地域会議)		0
	739804	つがの里活性化事業費(都賀地域会議)		0
策	744201	地域おこし協力隊募集事業費		0
達	744801	地域おこし協力隊活動事業費(蔵の街課)		0
成				
の				
ト た				
め				
၂ ၈				
事				
務				
事				
業				
Ī				
			1	

# 平成27年度 単位 施策評価表 補表

施策	7102 身近な	まちづくりの	)推進
	妥当性	妥当	地域の意見を市政に反映させる手段として当該施策は妥当と考える。
	コスト削減の余地	無	本施策の事業費は身近な地域のまちづくりであり、地域の活動量を減らさずコストを下げることはなじまない。
区分	受益者負担	適正	本施策は身近な地域の活性化をはかるものであり、受益者 負担は適当であると思われる。
<b>运</b> 方	上位貢献度	有効	上位施策の実現のため、本施策の目標達成が貢献する。
	類似事業の有無	無	他に類似する事務事業は見受けられない。
	成果向上の余地	有	成果は向上しており、今後も向上を図っていく。
	貢献度		
中如郭体	達成状況		
内部評価	課題		
	取組方針	予算提案( 透を図って ・まちづく)	別知等については、各地域会議ごとに会議の進捗状況や地域の内容について、地域住民に広報紙を発行することにより浸いる。 リ実働組織の設立に向け、地域住民の参加を求めるため、説開催している。

## 栃木市事務事業評価表

平成27年度

		17/1/1										_										
会	計	一般	款項目 0201	14 予算事業コード 7(	)440	)1 事業区分	02 経常的事業	新規	見 / その	20他 2	2 その他				į	基本旅	施策			単位	施策	
事	業名	地域会議選	<b>重営事業費(栃木</b>	大中央)								主	7102	市民と行	敗の協	働と	情報共有	化の推進	身近なま	きづくりの	の推進	
担係	当部: 担当	果 チーム名	総合政策部 地	域づくり 地域づ	くり	推進係		担当者	清水	孝之		従										
事	業の性	性質 2 自	治事務根	拠法令等 栃木市均	也域:	づくり推進条例								事業期間	H 2	2 7	~ H2	9 年度	全体事 (人件費		4,	041 千円
事業の概要	地市	■業完了(事業 域の住民代 からの意見 主要事業】	<sup>期間のない事業は平原</sup> 表組織として、 表組織として、 聴取に対して回	<sup>成32年度)までに、</sup> 地域の意見集約 答する役割を担	誰(何 ・調 う「:	J)を、どういう方法で、 整を行い、地域の 地域会議」を設置	どうしたいのか。対 意見を市へ届け し、運営する。	象、手	段の記入) と <b>もに</b>	)	達成目標	業完了	了(事業期 虫自性、	間のない事業 住民の力を	は平成3 <b>を活か</b>	3 2 年度 し <b>た</b> !	度)の目標) 身近なま	ちづくりを	を推進する	o		
単	位:	千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見	iΔ						施果   策目	或会詞	義出席者	<b>ó数5年</b>	間(平	<b>平成25</b>	5年度~平	<sup>Z</sup> 成29年度	(1,800	人(現状値	直720人)	
		国庫支出金			┙┎			平成	26年	 :度	標							平点		<del></del>		
		県支出金						1 7-20						ľ	事業	の /	 內容 】	1 7-7	~ - / 1/2			
	事業費	地方債				事 業 の									地域	会請	義の開係	全位 全位	本10回、 □ ±/	部会2回		
事	費	その他特財				の  内  容									地域	会請	展安良は	り取削さ	5 2件	記開催	<i>)</i> ]	
事業費・		一般財源		74	١١	谷 そ									白主	審請	双回答1 議意見捷		件			
指標		事業費 a		74	-110	で の 成									成果 地域		養委員	それぞれ	<b>こが、</b> 地	域の課	題を見	
がの推	人们	牛費 b		9,00		果								っ	め直	すこ	ことがっ	できた。				
移	減化	西償却費 c			$ \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix} $																	
	総	事業費 a+b+c		9,74	0	指標名				算	卸力法				単位	事業の事	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業	成果向上
	結:	果指標1		74.5		域会議の委員出席率	地域会 回数)	議委員 × 100	の総出席 (H27目	君数 ÷ 目標値:8	(地域会議委 80%)	き員の	定数×地	域会議開催	%	の  事  後	メコに	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
	結:	果指標 2									_					後評価	妥当	無	適正	有効	無	無

#### (改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・新たな地域自治制度として地域会議を設置したことにより、身近なまちづくりをさらに推進した。
  ・地域の課題解決に向けた話し合いを実施し、地域予算の提案やまちづくり実働組織の在り方について一定の方向性を見出した。

事業改善計画

事,

## 栃木市事務事業評価表

平成27年度

		17/17/1										_										
ź	計	一般	款項目 0201	14 予算事業コード 704	1501	事業区分	02 経常的事	業新	規 / その	20他 2	2 その他					基本於	拖策			単位	施策	
事	業名	地域会議選	<b>重営事業費(栃</b> オ	大東部 )								主	7102	市民と行	政の協	婦と	情報共有	化の推進	身近なま	きちづくりの	の推進	
担係	当部 • 担当	課 (チーム名	総合政策部地	域づくり 地域づく	(り推	進係		担当者	清水	孝之		従										
事	業の'	性質 2 自	治事務根	拠法令等析木市地	域づく	くり推進条例								事業期間	Н	2 7	~ H 2	9 年度	全体事		3,	114 <sup>千円</sup>
事業の概要	地市	▶業完了(事業 域の住民代 からの意見 主要事業】	期間のない事業は平) 表組織として、 聴取に対して回	<sup>成32年度)までに、舗</sup> 地域の意見集約・ 地域の意見集約・ 答する役割を担う	<sup>E</sup> (何)を 調整で すい がい は は は は に は に は に は に は に は に は に は に	:、どういう方法で、 を行い、地域の 域会議」を設置	<sub>どうしたいのか。</sub> 意見を市へ届 し、運営する	対象、手 すると	段の記入) と <b>もに</b>		達成目標	議完了 或の犯	'(事業期 虫自性、	間のない事業 住民の力	<sup>銭は平成</sup> を活力	3 2 年! <b>いした</b>	<sup>度)の目標)</sup> 身近なま	ちづくりを	を推進する	o		
単	·位:	千円、人 T	平成26年度決算額	平成27年度決算見込							成 地址 施果 策目	或会詞	議出席者	f数5年	F間 ( <sup>3</sup>	平成2	5年度~5	<sup>2</sup> 成29年度	〔)で1,800	人(現状値	直720人)	
		国庫支出金		0	_			平成	26年	•	1示							———— 平成	 ┇27年度			
		県支出金		0											事業	の p	内容】					
	事業費	地方債		0	事業の										地均 地均	法会 法会制	義の開作 義委員で	崖 9回 の報酬3	5払 F	記開催	分	
事	費	その他特財		0	の    内    容										地垣	会記	義だより	Ĵの発行	<b>5</b> 2件	- HUI/IJ (#E	,,	
事業費・	ł	一般財源		585	Ш										意見	等	算提案 事項回名	_1件 答 1件	等			
指	i I	事業費 a		585	そ   の <sub>成</sub>										成果		星なる2	地域の	住民代	表者が地	地域の	
標の	小人	· 件費 b		7.500	成果								課た	題等	を記	舌し合	うことで	で、相互	理解が	育まれ		
推移	減	価償却費 c		7,500	İL							10	-0									
	総	事業費 a+b+c		8,085		指標名				算	節出方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	_上位	類似事業	成果向上
	結	果指標 1		85.79	地域会	会議の委員出席率	地域回数	会議委員 )×100	の総出席 (H27目	君数 ÷ 目標値:8	(地域会議 30%)	委員の	定数×地	域会議開催	%	業の事後	ᆺᆿᄄ	余地	負担   	貢献度	の有無	の余地
	結	果指標 2		33.70											後評価	妥当	無	適正	有効	無	無	

### (改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・新たな地域自治制度として地域会議を設置したことにより、身近なまちづくりをさらに推進することができた
- 。・地域の課題解決に向け、地域予算事業の提案やまちづくり実働組織の在り方について話し合いが行われた。

事後評価備考

事業改善計画

**事** 

## 栃木市事務事業評価表

平成27年度

		1751-0	歌項目   020114   チ興事業コード   704601   事業区分   02   経常的記載会議運営事業費 (栃木西部)																							
会	計	一般	款項目	020114	4 予算事業コ	704	1601	事業区分	02	経常的事	業	新規 / その	)他 2	2	その他					基本的	施策			単位	施策	
事美	€名	地域会議選	営事業費	(栃木	西部)											主	7102	市民と行	政の抗	協働と	:情報共有	で化の推進	身近なま	きちづくりの	の推進	
担当係・	部記 担当	果 チーム名	総合政策部	部 地域	づくり	地域づく	り推	進係			担当	1者 清水	孝之			従										
事美	€の性	質 2 自	治事務	根拠	法令等	厉木市地 <sup>5</sup>	域づく	(り推進条例										事業期間	Н	2 7	~ H 2	9 年度	全体事		2,	953 千円
事業の概要	地市	i業完了(事業 域の住民代 からの意見	<sup>期間のない事</sup> 表組織とし 聴取に対し	業は平成 ンて、地 ンて回答	32年度) 地域の意見 ちする役割	<sup>までに、誰</sup> 見集約・ 割を担う	i(何)を 調整: 「地:	:、どういう方法で、 を行い、地域の 域会議」を設置	<sub>どうい</sub> 意見し、	したいのか。 見を市へ届 運営する。	対象、 ナる	手段の記入)とともに	)	遺	董 地域 以			間のない事業 住民の力					域づくり)	を推進する		
単位	国庫支出金													施策	果丨	会譲	議出席者	<b>首数</b> 5₫	F間 (	平成2	25年度~	平成29年度	₹)で1,800	人(現状値	直720人)	
	平成 2													,	作示							平点	 【2 7 年度			
		県支出金				0													事業	≝のF	内容】					
	事業費	地方債				0	事												地域	な会 は会言	義の開 <sup>義委員</sup>	催 8回 の報酬3		記開催	分	
事	費	その他特財				0	の内容												地垣	は会計	義だよ	りの発行	5 2件	- HUMIE	<b>/</b> J	
事業費・		一般財源				598	Ш												意見	聽	算提案 収事項		件			
指		事業費 a				598	IJの												成界		3地区の	住民代	表者が記	話し合い	<b>\をす</b>	
(元)   (元																					うまれた					
推 移 減価償却費 c																										
	総事	事業費 a+b+c				8,098		指標名					拿	争出	方法				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	成果向上
	結	果指標1				93.75	地域	会議の委員出席率		地域: 回数	会議委 )×1	委員の総出席 00 (H27目	者数÷  標値:	(地 80%	地域会議委 6)	員の	定数×地	域会議開催	%	事業の事後評価	XJI	余地	負担 	貢献度	の有無	の余地
結果指標 2																				評価	妥当	無	適正	有効	無	無

### (改善内容とその効果を具体的に記入)

- ・新たな地域自治制度として地域会議を設置したことにより、身近なまちづくりをさらに推進することができた
- 。 ・地域の課題解決に向け、地域予算事業のの提案やまちづくり実働組織の在り方について話し合いが行われた。

事後評価備考

事業改善計画

事。

# 栃木市事務事業評価表

平成27年度

_		依工													_							1 7-20 =	, 12	
会	計	一般	款項目 02	0114 予算事業	*⊐−⊦ 7053	302	事業区分	02 経常的	的事業 第	新規 /	′その他	2 <del>7</del> 0	)他					基本的	施策			単位	施策	
事業	《名	地域会	義運営事業費(カ	(平)										主	7102	市民と行	政の協	協働と	:情報共有	化の推進	身近なま	きづくりの	の推進	
担注係・	当部説 担当	₹ チーム名	総合政策部	大平地域課	地域づく	り推	進係		担当	省 田	中 佳代	;		従										
事業	美の性	質 2	自治事務	根拠法令等	栃木市地域	ずづく	り推進条例									事業期間	Н	2 7	~ H 2	9 年度	全体事業 (人件費		2,	704 千円
事業の概要	t ICī	業完成のののでは、またのでは、またののでは、またのでは、またので、またので、またので、またので、またので、またので、またので、またので	F業期間のない事業は 三民代表組織とし 意見聴取に対し 議の開催 議委員の報酬支 議だよりの発行 〕	<sup>平成32年度</sup> て、地域の て回答する 払い	)までに、誰 )意見集約 6役割を担・	(何)を ・調 う「 <sup>」</sup>	、どういう方法で、 整を行い、地域 地域会議 」を設	どうしたいの 成の意見を市 设置し、運営	か。対象、 近へ届ける ぎする。	手段のるとと	記入) とも	達成目標							度)の目標) た身近な	まちづく!	)を推進す	<b>ర</b> .		
単·	位:	千円、ノ	平成26年度決算	蔥額 平成27年	度決算見込							成 施果 策目 標	地域	会議	出席者	数5年	F間 (	平成2	25年度~平	<sup>2</sup> 成29年度	で1,800	人(現状値	9720人)	
		国庫支出	金		0				平)	成 2	 6 年度	信								平成	 t 2 7 年度	<u> </u>		
	県支出金 0 事																事業	ÉØ.	 内容			_		
	事業	地方債			0	事  業											·	边域:	会議の関	開催 ラの起る	州支払い			
事	寿費	その他特	財		0	の内容											· 址	地域名	会議だ。	とりの多	でである。	l		
事業費·		一般財法	京		623	谷   そ											その					<b>-</b> \$ . 4		
指標		事業費	а		623	の成											· 过 " 信	U域( E民(	の独目19 の力 " で	生を活た を活かし	いしたま った地域	<b>ちつく</b> づくり	リ及び を推進	
がの推	人作	費	b		13,950								した	-0										
移	減値	質却費	С		0																			
	総事	■業費 a+b・	+ c		14,573		指標名					算出方》	ŧ.				単位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	_上位	類似事業 の有無	成果向上
	結	果指標 1			88.97	地域会	会議の委員出席率	t ]	地域会議委 回数) × 10	委員のA 00	総出席者数 H27目標(	÷ (地域会 直 80%	議委員	員の定	E数×地址	域会議開催	%	事業の事後評価	XJI	余地	<b>負担</b>	貢献度	の有無	の余地
結果指標 2															評価	妥当	無	適正	有効	無	有			

( 改善内容と	この効用を日	/+th/si=====
	アリショキを日	

身近な地域のまちづくりの推進に必要な事項について、市長への提案を行ったり、市長からの問いかけに対して意見を述べ、地域の課題解決や活性化を図る。

事業改善計画

# **栃太市車**務**車**業郭価夷

立式 2.7年度

	_	棣式 1							70 - 1	, j- J-5.		<b></b>									1 77% 2	/ 十皮	
会	計	一般	款項目 02011	4 予算事業コード    705	403	事業区分	02 経常的	事業 新	規 / そ	一の他	2 70	D他				:	基本的	拖策			単位	施策	
事業	(名	地域会議選	重営事業費 ( 藤岡	)									主	7102	市民と行	政の協	協働と	情報共有	化の推進	身近なま	きづくりの	D推進	
担 係·	当部部 担当	果 チーム名	総合政策部 藤岡	岡地域課 地域づく	り推	進係		担当者	1 亀田	ミュ	‡		従										
事業	美の性	蜇 2 自	治事務 根拠	処法令等 栃木市地	域づく	(り推進条例									事業期間	Н	2 7	~ H 2	9 年度	全体事業 (人件費		3,	005 千円
事業の概要	(事 地方 <b>【</b> ]	議院了(事業 域の住民代 からの意見 主要事業】	期間のない事業は平成 表組織として、 ‡ 聴取に対して回名	332年度)までに、誰 地域の意見集約・ 答する役割を担う	(何)を 調整 「地	:、どういう方法で、 を行い、地域の 域会議」を設置	<sub>どうしたいのか</sub> )意見を市へ )意見を市へ 遣し、運営す	。対象、手 <b>届けると</b> る。	段の記.	λ) Ξ	達成目標	(事第	議完了 の独	(事業期 注自性、	間のない事業 住民の力:	は平成を活力	3 2 年! <b>いした</b>	度)の目標) 身近なま	ちづくりを	₹推進する	•		
単	位:	千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込		成 施果 策目 標	地域	会議	出席者	f数5年	三間 ( -	平成2	5年度~	<sup>2</sup> 成29年度	で1,800	人(現状値	720人)						
		国庫支出金		0		t 2 6	 年度	標								 平成							
		県支出金		0							r	 内容	· 1				_						
	事業	地方債		0								地垣	会記	義の開作 義を長る	崖 の報酬さ	5 t/ 1 \							
事	<b>乗</b> 費	その他特財		0	の内容											地垣	法会話	裁安員に	り取削を	<u> </u>			
事業費·		一般財源		686	谷     そ												会記		崖し、会	会議出席	委員へ	委員報	
指標		事業費 a		686	llの											地垣	法言				,域会議		
がの推	人作	牛費 b		7,500	成果											外、た。	地均	或のまる	ちづく!	つに関す	る情報	を周知	
移	減值	面償却費 c		0																			
総事業費 a+b+c 8.186 指標名												去				単位	事業の事	妥当性	コスト 削減の	受益者 負担	上位	類似事業	
結果指標 1   地域会議の委員出席率   地域会議委員の総出											÷ (地域ź %	議委	員の記	定数×地:	域会議開催	%	事後	\	余地	負担	貢献度	の有無	の余地
結果指標 2																件	後評価	妥当	無	適正	有効	無	無
_			スの効果を見ばめに	47.1.1																			

(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域会議委員の地域会議への出席率向上を図る。 地域予算提案制度や地域資源を活用し、特色あるまちづくりを推進する。 事業改善計画

**事** 様式 1

# 栃木市事務事業評価表

平成27年度

		惊エ\												_									7 -132	
会	計	一般	款項目 02011	4 予算事業二	⊐−⊧ <b>7</b> 055	504	事業区分	02 経常的	的事業	新規	/その	)他 2	2 その他	1			:	基本的	施策			単位	施策	
			<b>営事業費(都賀</b>	.)										ŧ	7102	市民と行	<b>可政の協</b>	協働と	:情報共有	化の推進	身近なま	きづくりの	D推進	
担 <sup>当</sup> 係•	部課 担当:	₹ チーム名	総合政策部 都賀	買地域課	地域づく	り推進	進係		担	当者	佐藤	律子		従										
事業	(の性	質 2 自	治事務 根拠	心法令等												事業期間	<b>П</b>	2 7	~ H3	2 年度	全体事 (人件費		5,	350 千円
事業の概要	地方	業完了(事業 域の住民代 いらの意見 主要事業】	期間のない事業は平成表組織として、t 表組織として、t 聴取に対して回名	32年度) 地域の意見 答する役割	<sup>までに、誰(</sup> 見集約・詰 割を担う	何)を、 <b>周整を</b> 「地切	、どういう方法で、 を行い、地域 <i>の</i> 或会議 」を設置	、どうしたいの D意見を市へ 置し、運営す	か。対象 へ届ける する。	<sup>、手段</sup> るとと	8の記入) さ <b>もに</b>		達成目標	事業完 域の	了(事業其)	間のない事態 住民の力	業は平成 ○を活力	3 2年) <b>いした</b>	度)の目標) 身近なま	ちづくりを	を推進する	o		
単作	立: <sup>-</sup>	千円、人	平成26年度決算額			成 施果 策目 標	域会	義出席者	≦数5 <sup>2</sup>	年間(	平成2	5年度~	P成29年度	で1,800	人(現状値	9720人)								
		国庫支出金		2 6年		標							平点		<del></del>									
		県支出金		1 7-20 -						<del>-   ,</del>	1 車型	έωr	 内容】	1 7-7	~ - / 1/24									
	事	地方債			0	事業											地垣	は会計	義の開係	崔 の報酬3	<del> -</del> ±/.			
事	寿費	その他特財			0	の内容														りの発行				
事業費・		一般財源			666	谷  そ											【成果		* 0		uluete -	+77 -84		
指標		事業費 a			666	の成										軒	國際を	支护	么った。		、出席和			
がの推	人件	‡費 b			15,000	第										望	地垣 野地垣	なき は会言	義の活動 義だより	助や地域 )を4回	或の行事 発行し <i>1</i>	を掲載	した都	
推																								
総事業費 a+b+c 15,666 指標名												算	算出方法				単位	事業の事	妥当性	コスト 削減の 余地	受益者	上位	類似事業	成果向上
	結身	果指標1			96.30	地域会	会議の委員出席率		地域会議 数) × 10	養委員( 00	の総出席 H27目標	者数÷	(地域会議 .0%	委員の	定数 × 址	<b>地域会議開催</b>	%	事		余地	負担	貢献度	の有無	の余地
結果指標 2																後評価	妥当	無	適正	有効	無	無		

(改善内容とその効果を具体的に記入)

今後設立されるまちづくり実働組織と連携しながら、地域の独自性、住民の力を活かした身近なまちづくりを推 進する。

事業改善計画

栃木市事務事業評価表

平成27年度

_	_	禄式 1						144												1 /3% 2	. / 干皮	
会	計	一般	款項目 02011	14 予算事業コード 7	0560	)5 事業区分	02 経常的	的事業 新規	見 / その	の他 2	2 その作	b			基	本施策				単位	施策	
事業	業名	地域会議選	<b>運営事業費(西方</b>	ī)								主	7102	市民と行政	の協働	かと情報	共有化の	推進	身近なま	ちづくりの	の推進	
	当部課 担当	果 チーム名	総合政策部 西刀	方地域課 地域つ	づくり	推進係		担当者	中田	治彦		従										
事業	業の性	<b>2</b> 自	治事務 根排	処法令等 栃木市	地域:	づくり推進条例						•		事業期間	H 2	7 ~	H 2 9	丰度	全体事業 (人件費)		2.	574 千円
事業の概要	地拉市	或の住民代	表組織として、対	地域の意見集約	• 調	i)を、どういう方法で、整を行い、地域の 地域会議」を設置	)意見を市へ	、届けると	段の記入	)				間のない事業は 住民の力を				づくり	を推進す	<b>ა</b>	_,	
単	位:	千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見	,込						成   地 施果   策目   標	域会記	義出席者	f数5年間	引(平)	成25年度	~平成29	年度)	) で1,800.	人(現状値	直720人)	
		国庫支出金			٦٦			平成	26年	E度	標							平成	2 7 年度			
		県支出金					- IX					<b>三</b>	 D内容	1	1 /-/	2 / <del>-  </del>  X						
	事	地方債			0	事 業 の						坩	也域会	会議の O開催	開催							
事	事業費	その他特財			0	の  内  容						Į Ž	な報料	氏の発		≖m <del></del>	-+/ : \	<i>^</i> -				
業費・		一般財源		62	١١؞	谷 そ											員の報	酬文	(払し)	等		
・  指  標		事業費 a		62	71	で の 成									な果】 とし域名	会議の	開催	10回				
惊  の  推	人作	井費 b		7,50	-     ;	(発								音	『会の 、報約	開催の発	<b>∤</b> ∓	1回 4回				
移	減個	西償却費 c			] [										~ IIA///							
	総事	事業費 a+b+c		8,12	20	指標名				拿	算出方法			単	位	事業の当	は性 削が	スト	受益者	上位	類似事業	成果向上
	結身	果指標 1		80.0		域会議委員出席率	į	地域会議委員 × 100 H 27	!の総出席 目標値	席者数÷ 80%	(地域会譲	委員定	数×会議	開催回数)	%	の   女 = 事   後 <b> </b> _	余	地	負担	貢献度	の有無	の余地
	結身	果指標 2														· 後       子   一   子	当	#	適正	有効	無	無
事業改善計画			その効果を具体的に  案制度を活用		題の	)解決を図るた		を開催し	<u></u> ノて提	案事	業内容	を検言	寸して	 l \ < 。								

車

# **近太古事教事**娄瓡価事

Ξ	<u> </u>	様式 1									17/)	ント・トー	尸①刀	于未们	-   ІРЩ	18							平成 2	/ 牛度	
会	計	一般	款項目(	020114	4 予算事業コー	۲19	706	事業区分	02 経常的	事業	新規	<b>! / その</b> ((	<u>t</u> 2	その他				基	本施	策			単位	施策	
事	業名	地域会議選	<b>重営事業費</b> (	(岩舟)	)										主	7102	市民と行政の	の協働	動と情	青報共有	化の推進	身近なま	きづくりの	の推進	
担係・	当部: 担当	果 チーム名	総合政策部	岩舟	·地域課 地	域づく	り推済	進係		担	当者	小松原	雅人	•	従										
事	業の性		治事務		I	–		り推進条例									事業期間	H 2	7 ~	H 2	9 年度	全体事 (人件費		3,	012 <sup>千円</sup>
事業の概要	+#+	議党了(事業 域の住民代 もに市から 当する。 主要事業】	<sup>期間のない事績</sup> 表組織とし の意見聴取	は平成に対し	3 2 年度) ま 集約・調 で回答す	でに、誰 整を行 る役割	<sup>(何)を、</sup> <b>い、</b> 均 を担う	、どういう方法で、 也域の意見を市う「地域会議」	どうしたいのだ へ届けると を設置し、	か。対象 - -	<b>、</b> 手段	役の記入)		達成目標	或の独 基する	虫自性、 る。	間のない事業は 住民の力を〉	舌かし 	ノた 身	近なま			·		·
単	位:	千円、人	平成26年度》	<b>央算額</b>	平成27年度決	算見込							j	施果   策目	<b>戍会</b> 語	義出席者	<b>首数5年</b> 間	1(平	成25	年度~平	Z成29年度	で1,800	人(現状値	直720人)	
		国庫支出金				0	П			Σ	平成 2	2 6 年度	<u> </u> <del>}</del>	標							平成	 え27年度			
		県支出金			<u>-</u>				【事	業	—— 内容	· ]			-										
	事	0															世	域组	会議	の開催	崖 Ĵの発行	- 笙			
事	費																【成	果					<b>⇔.</b> +	+~′/	
事業費・		一般財源				797	容										りに	つし	17	話しる	合った。	ノ、住み			
指標		事業費 a				797	の成										まりません	た、 I板i	地 登置	」域予算 上事業」	算提案事 」を提案	事業であ gするに	る「ふ 至った	るさと 。	
原の推	人作	牛費 b			16	6.000	巣										世	域组	会議	だより	クを3[	回配布し 区図った	、地域	会議の	
移	減化	面償却費 c				·												J. 17 (7.			C 7-3 7-H C		••		
総事業費 a+b+c 16.797										算	出方法			単	位	事業	妥当性	コスト 削減の	受益者	上位	類似事業				
	16.797   地域会議の委員出席率   地域会議の委員出										員出席率	H27目	標値 80%			9	6	事業の事後評価	女当江	余地	負担	貢献度	の有無	の余地	
	結	果指標 2																	評 価 	妥当	無	適正	有効	無	無
事業改善計画	更		その効果を具 類し <b>やす</b>			運営	体制	の充実に努	める。																